

特集

新型コロナと セックス・マスターベーション 調査報告①

およそ4人に1人が「性生活に変化」

1000人
の性生活

月刊TENGA web版はこちら

<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>



新型コロナでおおよそ4人に1人が「性生活に変化」

TENGA調べ「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート」1 (全3回)

2020年のトピックとなった新型コロナウイルスの感染拡大。病状や経済的な問題に加え、「中高生の妊娠相談の増加」、「感染経路であるナイトビジネスへの名指しの営業自粛要請」、「性行為に伴う感染リスク」など、「性」への影響も話題にのぼりました。世界的なウイルス禍の発生にあたり、一般の人々の性行動や性への意識にはどのような変化が起きたのでしょうか。株式会社TENGAが20代～50代の男女、計960名を対象に行った「コロナと性」についての調査結果を、計3本のレポートに分けて発表します。

尚、本レターに記載の情報は、グラフ画像素材を含め、ご自由にお使いいただけます。

その際は、出典として、「TENGA調べ『新型コロナウイルスと性生活に関する調査』」とお書き添えください。

Report1 画像ダウンロード用URL :

https://drive.google.com/drive/folders/1KSTEYI40scwgmI9tS7Q_q7zTM5tNCaRh?usp=sharing

▽8月31日(月)配信 「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート1」

大テーマ : コロナが与えた性生活の変化

- 4人に1人が「性生活に変化」
- 大多数がSEX回数は感染拡大とともに減少傾向
- マスターベーションを普段しない人が外出自粛下ではするように。
- 感染拡大とともに、性欲は減少傾向に
- 性生活満足度も低下傾向
- 「性生活の変化」で多かったものは「セックスレス改善」「オンラインSEX」「衛生観念でパートナーと喧嘩」等

▽9月2日(水)配信 「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート2」

大テーマ : コロナ禍とストレス解消法

- 「マスターベーション」は、「オンライン飲み」と同等のストレス解消効果？
- 男性は女性に比べて、SEXやマスターベーションができないストレスを感じがち
- マスターベーション増加理由を日米比較、「暇」「ストレス発散やリラックス」が上位に
- マスターベーション減少理由を日米比較、「プライバシーがない」「ストレス過多」など
- 海外の政府や自治体が推奨した性生活感染対策にどれくらい有効だと思う？

▽9月4日(金)配信 「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート3」

大テーマ : コロナ禍でのアダルトグッズ利用率、“オカズ”探しの変化

- 約1割が「アダルトグッズを使用」
- アダルトグッズ使用理由の日米比較、日本人男性は「新しいことを試したいから」
- “オカズ”の探索時間、男性は長く、女性は短く
- 様々な自由回答

オンライン
説明会

2020年9月9日(水)「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート」フルバージョン 説明会開催

なお、9月9日(水)14時～15時にて、コロナと性生活調査結果のフルバージョンを公開する、オンラインご説明会の場を設けさせていただきます。本ニュースレターに掲載しない結果もご紹介いたします。参加をご希望の方は、9月8日(火)の18時までに、本メール末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

▶ 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内

TEL : 03-6416-3268 / FAX : 03-6416-3269 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp 担当 : 渡邊 聖之(まさゆき)、金子、森下

Page

1/6

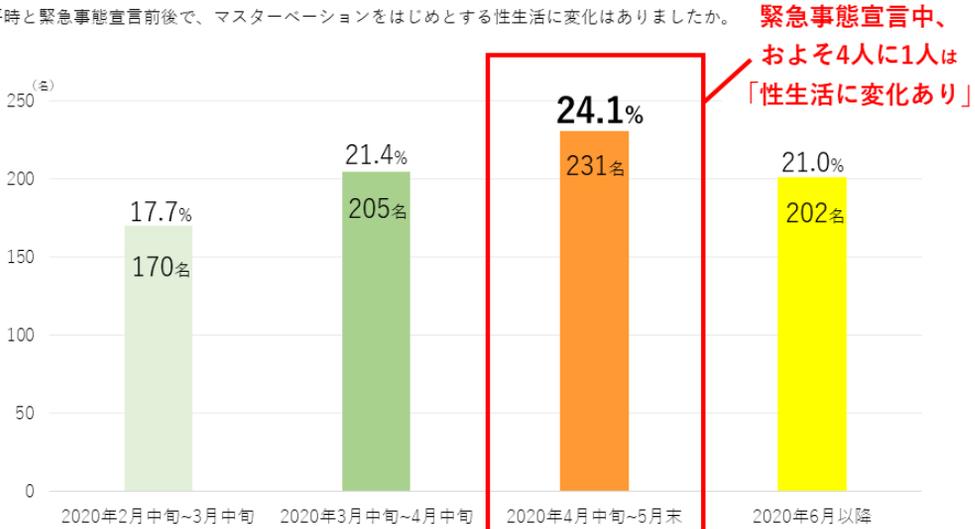
コロナが与えた性生活の変化

■4人に1人が「性生活に変化」

コロナウイルスの感染拡大および緊急事態宣言を機に、多くの人々が「性生活（SEXやマスターベーションなど）」における何らかの変化を経験している。とくに全国的に緊急事態宣言が出ていた4月中旬～5月末にかけて変化を感じた人が最も多く、およそ4人に1人（24.1%）が「何らかの変化があった」と答えた。

平時とコロナ流行以降で「性生活に変化があった人」の割合推移

Q. 平時と緊急事態宣言前後で、マスターベーションをはじめとする性生活に変化はありましたか。



(n=960)
※本設問では、様々な具体的な変化の内容を選択肢にあげて聴取しており、「この中にあてはまるものはない」という選択肢以外のいずれかを選んだ人の数を集計した

新型コロナウイルス 主な出来事

日付	出来事
2020/1/14	WHO 新型コロナウイルスを確認
2020/1/16	日本国内で初めて感染が確認されたことを厚労省が発表
2020/2/3	乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
2020/2/13	国内で初めて感染者死亡
2020/2/27	安倍首相 全国すべての小中高校に臨時休校要請の考え公表
2020/3/9	専門家会議「3条件重なり避けて」と呼びかけ
2020/3/24	東京五輪・パラリンピック 1年程度延期に
2020/3/29	志村けんさん死去 新型コロナウイルスによる肺炎で
2020/4/7	7都府県に緊急事態宣言「人の接触 最低7割極力8割削減を」
2020/4/16	「緊急事態宣言」全国に拡大 13都道府県(※特定警戒都道府県)に
2020/5/14	政府 緊急事態宣言 39県で解除 8都道府県は継続
2020/5/20	夏の全国高校野球 戦後初の中止決定
2020/5/21	緊急事態宣言 関西は解除 首都圏と北海道は継続
2020/5/25	緊急事態の解除宣言 約1か月半ぶりに全国で解除
2020/6/2	初の「東京アラート」都民に警戒呼びかけ
2020/6/8	世界の感染者 24時間で最多の13万6000人
2020/7/2	東京都 107人の感染確認 100人超は2か月ぶり
2020/7/3	国内の感染者 2か月ぶりに200人を超える
2020/7/9	東京都 224人の感染確認 過去最多

■ 大多数がSEX回数は感染拡大とともに減少傾向

SEX回数については、平時は「月1回～9回」がボリュームゾーン(51.2%と過半数を占める)だが、この層では感染拡大とともにSEX回数が多くなったり少なくなったり、両極端に分かれる傾向が見られた。「月20～29回」と答えた人が倍になり、「月0回」と答えた人が増えている。

なお、テレワーク層と非テレワーク層のSEXおよびマスターベーション回数も比較したが、変化の仕方に大きな差異は見られなかった。

平時とコロナ流行以降での「SEXの回数」の変化

Q. 平時と緊急事態宣言前後で、SEXの回数に変化はありましたか。

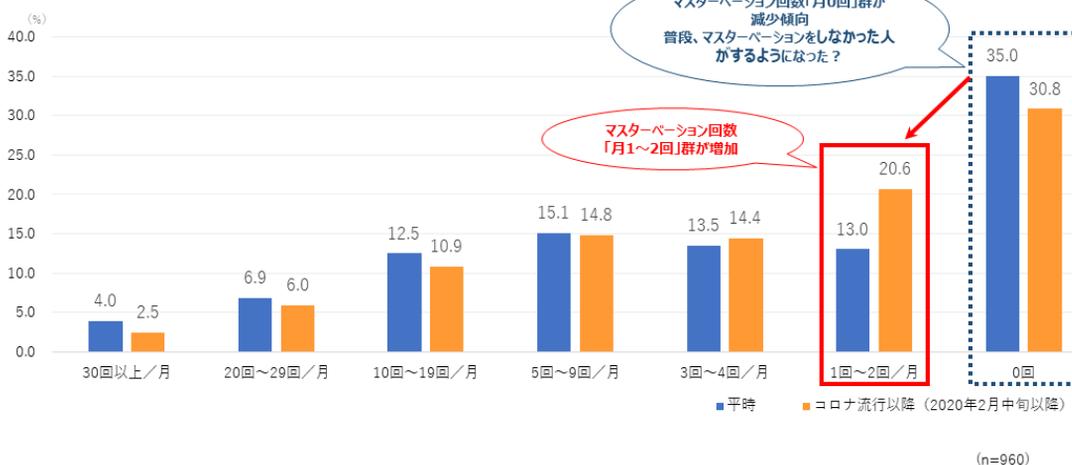


■ マスターベーションを普段しない人が外出自粛下ではするように

マスターベーションを普段しない層は、平時35.0%→2月中旬以降30.8%と、4.2pt減少。一方で「月1～2回」の層は、平時13.0%→2月中旬以降20.6%と、7.6pt増加した。この変化がとくに顕著に見られたのは、「独身・1人暮らし」および「既婚・子あり」の層だった。

平時とコロナ流行以降での「マスターベーションの回数」の変化

Q. 平時と緊急事態宣言前後で、マスターベーションの回数に変化はありましたか。



■ 感染拡大とともに、性欲は減少傾向に

「性欲の強さ」を10点満点で自己採点していただいたところ、平時と比べて全体的にやや低下しているが、男性の「7都府県・独身・1人暮らし」層のみ、平時と比べてわずかに上昇している。

コロナ流行以降（2月中旬以降）における性欲の低下傾向は男女問わず見られるが、とくに顕著なのが女性の「7都府県・既婚・子あり」層で、平時に比べ最大0.8ptの性欲減が見られた。

※最初に緊急事態宣言が出された東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・兵庫・福岡のいずれかに、4月7日の発令時に住んでいた人を「7都府県在住者」とした。

Q. 平時と緊急事態宣言前後での「性欲の強さ」を、10段階でお答えください。（※10を「最も強い」、1を「最も弱い」として、10段階で回答）

【男性】性欲の強さ 平均値

	平時	2月中旬 〜 3月中旬	3月中旬 〜 4月中旬	4月中旬 〜 5月末	6月以降
男性全体 (n=480)	5.9	5.7	5.8	5.8	5.8
7都府県・独身・1人暮らし (n=60)	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0
7都府県・独身・同居人あり (n=60)	6.0	5.8	5.8	5.9	5.9
7都府県・既婚・子なし (n=60)	5.4	5.4	5.6	5.5	5.5
7都府県・既婚・子あり (n=60)	6.3	6.2	6.1	6.2	6.2
その他エリア・独身・1人暮らし (n=60)	6.0	5.7	5.8	5.8	5.7
その他エリア・独身・同居人あり (n=60)	5.3	5.1	5.1	5.1	4.9
その他エリア・既婚・子なし (n=60)	5.7	5.5	5.6	5.6	5.6
その他エリア・既婚・子あり (n=60)	6.4	6.3	6.3	6.3	6.1

↑
上昇傾向

【女性】性欲の強さ 平均値

	平時	2月中旬 〜 3月中旬	3月中旬 〜 4月中旬	4月中旬 〜 5月末	6月以降
女性全体 (n=480)	4.0	3.6	3.6	3.6	3.7
7都府県・独身・1人暮らし (n=60)	4.1	3.8	3.8	3.9	3.8
7都府県・独身・同居人あり (n=60)	4.0	3.6	3.5	3.5	3.6
7都府県・既婚・子なし (n=60)	3.7	3.5	3.5	3.3	3.5
7都府県・既婚・子あり (n=60)	3.8	3.0	3.0	3.1	3.1
その他エリア・独身・1人暮らし (n=60)	4.1	3.8	3.8	3.8	3.7
その他エリア・独身・同居人あり (n=60)	4.2	4.0	3.9	4.0	4.2
その他エリア・既婚・子なし (n=60)	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
その他エリア・既婚・子あり (n=60)	3.9	3.4	3.4	3.5	3.7

↓
低下傾向

(n=960)

■ 性生活満足度も低下傾向

「性生活満足度」を10点満点で自己採点していただいたところ、平時と比べてすべての層で低下している。とくに女性の「7都府県・既婚・子あり」層の減少幅が大きく、平時に比べ最大0.6ptの減少が見られた。

ちなみに、女性の中でも「その他エリア・独身・同居人あり」の層は平時から満足度が高めであり、コロナ流行以降でも比較的高めの数値をキープしている。

Q. 平時と緊急事態宣言前後での「性生活満足度」を、10段階でお答えください。（※10を「最も強い」、1を「最も弱い」として、10段階で回答）

【男性】性生活満足度 平均値

	平時	2月中旬 〜 3月中旬	3月中旬 〜 4月中旬	4月中旬 〜 5月末	6月以降
男性全体 (n=480)	5.3	5.2	5.1	5.1	5.1
7都府県・独身・1人暮らし (n=60)	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2
7都府県・独身・同居人あり (n=60)	5.3	5.0	4.8	4.8	4.9
7都府県・既婚・子なし (n=60)	5.4	5.3	5.4	5.2	5.2
7都府県・既婚・子あり (n=60)	5.3	5.1	5.1	5.2	5.2
その他エリア・独身・1人暮らし (n=60)	5.2	5.0	4.8	4.9	4.8
その他エリア・独身・同居人あり (n=60)	5.0	4.7	4.7	4.6	4.7
その他エリア・既婚・子なし (n=60)	5.4	5.3	5.2	5.2	5.4
その他エリア・既婚・子あり (n=60)	5.7	5.5	5.5	5.5	5.5

【女性】性生活満足度 平均値

	平時	2月中旬 〜 3月中旬	3月中旬 〜 4月中旬	4月中旬 〜 5月末	6月以降
女性全体 (n=480)	4.6	4.3	4.3	4.2	4.4
7都府県・独身・1人暮らし (n=60)	4.5	4.4	4.3	4.2	4.3
7都府県・独身・同居人あり (n=60)	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3
7都府県・既婚・子なし (n=60)	4.6	4.2	4.2	4.2	4.2
7都府県・既婚・子あり (n=60)	4.5	3.9	4.0	4.0	4.2
その他エリア・独身・1人暮らし (n=60)	4.2	3.9	3.7	3.6	3.8
その他エリア・独身・同居人あり (n=60)	5.0	4.9	4.6	4.4	4.9
その他エリア・既婚・子なし (n=60)	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7
その他エリア・既婚・子あり (n=60)	4.5	4.1	4.2	4.3	4.5

↓
低下傾向

(n=960)

▶ 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内

TEL : 03-6416-3268 / FAX : 03-6416-3269 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp 担当 : 渡邊 聖之(まさゆき)、金子、森下

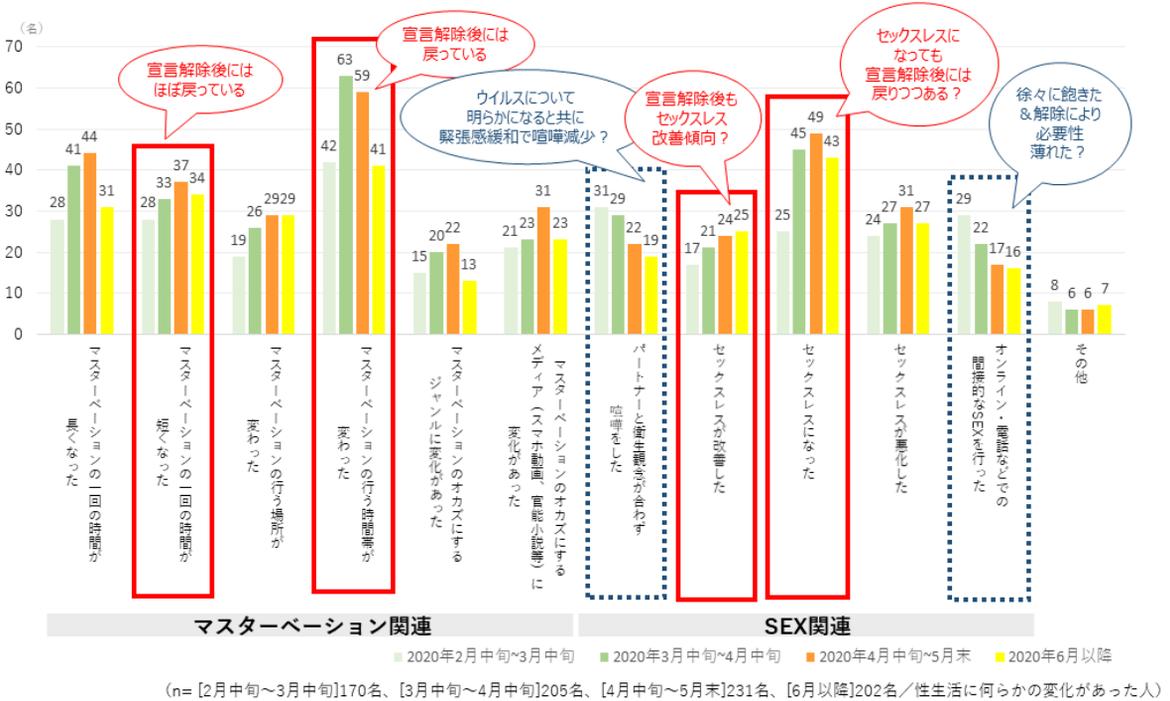
Page

4/6

■「性生活の変化」で多かったのは「セックスレス改善」「オンラインSEX」「衛生観念でパートナーと喧嘩」等

平時とコロナ流行以降での性生活の変化

Q. 平時と緊急事態宣言前後で、マスターベーションをはじめとする性生活に変化はありましたか。



ちなみに、冒頭でもご紹介した「4人に1人が経験した性生活の変化」だが、変化の内容として多かったものは次のとおりだ。

◆「性生活の変化」で多かったもの～SEX関連～

SEX関連の変化として多かったのは、「オンライン・通話によるSEXを行った」「パートナーと衛生観念が合わず喧嘩した」「セックスレスになった/セックスレスが改善した」というもの。

「オンライン・通話によるSEX」を行った人は、**事態の初期（2月中旬～3月中旬）**がとくに多く、全体の3.0%（男性4.2%/女性1.9%）となった。ただしこの期間がピークで、その後は徐々に減っている。

「パートナーと衛生観念が合わず喧嘩した」という人も**2月中旬～3月中旬**にかけての時期が最も多く、全体の3.2%（男性3.1%/女性3.3%）。だがその後ゆるやかに減少し、6月以降には2.0%（男性1.7%/女性2.3%）になっている。

「セックスレスになった」という人は、**4月中旬～5月末**にかけてがピークで、5.1%（男性5.2%/女性5.0%）。その後はゆるやかに減少の兆しが見える。

逆に「セックスレスが改善した」という人は、2月中旬～3月中旬の時点で1.8%（男性2.1%/女性1.5%）。セックスレス改善組はその後も**徐々に増え続け**、緊急事態宣言解除後の6月以降は2.6%（男性2.3%/女性2.9%）となっている。

◆「性生活の変化」で多かったもの～マスターベーション関連～

マスターベーションにおける変化としては、「**行う時間帯が変わった**」という人が最も多く、**3月中旬～4月中旬**がピークで6.6%（男性8.8%/女性4.4%）。また「**1回の時間が長くなった**」という人は**4月中旬～5月末**が最も多く、4.6%（男性6.7%/女性2.5%）で、その後は減りつつある。

「新型コロナウイルスと性生活に関する調査」 調査概要

調査元 株式会社TENGA
対象 計960名

			独身で1人暮らし		独身で同居人がいる		既婚（子なし）		既婚（子あり）	
			男	女	男	女	男	女	男	女
7都府県在住者(*)	20代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
計 480	30代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
	40代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
	50代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
	その他の県の在住者	20代	計 120	15	15	15	15	15	15	15
計 480	30代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
	40代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15
	50代	計 120	15	15	15	15	15	15	15	15

(*)…7都道府県在住者…東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県のいずれかに、4月7日の緊急事態宣言発令時に住んでいた人

実施日 2020年7月22日（木）～27日（月）

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合があります。

⇒調査レポートのPDF版はこちら：<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>

<次号予告>

「新型コロナウイルスと性生活に関する調査レポート」2 ⇒ 9月2日(水)配信予定！

- 「マスターベーション」は、「オンライン飲み」と同等のストレス解消効果？
- 男性は女性に比べて、SEXやマスターベーションができないストレスを感じがち
- マスターベーション増加理由を日米比較、「暇」「ストレス発散やリラックス」が上位に
- マスターベーション減少理由を日米比較、「プライバシーがない」「ストレス過多」など
- 海外の政府や自治体が推奨した性生活、感染対策にどれくらい有効だと思う？

月刊TENGA は、TENGAの製品やニュースだけでなく、性にまつわる様々な情報を定期的に提供するニュースレターです。

“面白おかしさ”を大切にしつつも、性と真正面から向き合い、真面目に作り続けてきたTENGAだからこそ発信できる、硬軟様々な情報を届けます。様々な文献や歴史、そして人物、市場情報など多様なリサーチと開発を継続し、皆様により意義と価値のある情報を提供できればと考えています。性に関するストレスが少しでも軽減されたり、親しい誰かに相談するきっかけを作ったりと、性の悩みを和らげられる社会づくりへの貢献をめざします。

月刊TENGA バックナンバー <https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>

TENGA 公式オンラインストア <https://store.tenga.co.jp>

TENGA コーポレートサイト <https://tenga-group.com>

画像ダウンロード用URL https://drive.google.com/drive/folders/1KSTEYI40scwgmI9tS7Q_q7zTM5tNcaRh?usp=sharing

本レターに記載の情報は、画像素材を含め、ご自由にお使いいただけます。
ぜひ記事素材などにお使いくださいませ。

▶ 商品や株式会社TENGAに関するお問い合わせ先

TENGA マーケティング本部 国内コミュニケーショングループ 広報チーム
TEL：03-5418-5590 担当：本井 はる、犬飼 幸

▶ 月刊TENGAに関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内
TEL：03-6416-3268 / FAX：03-6416-3269 / MAIL：tengapr@publicgood.co.jp 担当：渡邊 聖之(まさゆき)、金子、森下